

今後の予定

- 第二回 2002年 12月14日(土) 14時-16時

「子どもの宇宙とこども芸術大学」

講演 「子どもの宇宙とこども芸術大学」 河合隼雄(文化庁長官・臨床心理学者)

- 第三回 2003年 1月11日(土) 14時-16時30分

「芸術の中の子どもたち」

基調講演 「絵の中の子どもたち」 高階秀爾(美術評論家・京都造形芸術大学教授)

基調講演 「伝統芸能と子どもたち」 井上八千代(京舞井上流家元・京都造形芸術大学教授)

鼎談 「芸術の中の子どもたち」 高階秀爾(美術評論家)

井上八千代(京舞井上流家元)

芳賀徹(京都造形芸術大学学長)

- 第四回 2003年 2月22日(土) 14時-16時

「子どもと自然とこども芸術大学」

基調講演 「身近ないのちに学ぶ」 梶田真章(法然院貫主)

対談 「子どもと自然とこども芸術大学」 梶田真章(法然院貫主)

原田憲一(京都造形芸術大学教授)

こども芸術大学準備室に専用電話・メールアドレスができました。

つきましては2回目以降の参加申し込みは以下の要領をお願いします。

- 参加無料 定員500名(先着順)

参加ご希望の方は、ご希望の回とお名前、ご住所、電話番号をご記載の上、ハガキ・ファックス・メールにて「こども芸術大学準備室」宛、お申し込みください。

就学前のお子様の保育をご希望の方は、2日前までに電話にてお申込みください。(有料)

- お問合せ・申し込み

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都造形芸術大学 こども芸術大学設立準備室

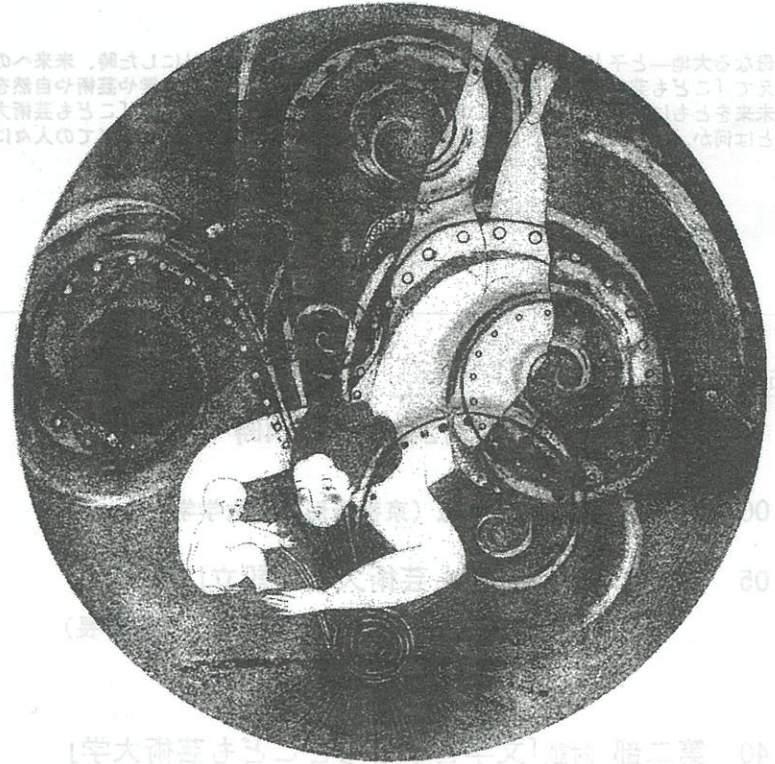
tel (075) 791-9120, fax (075) 791-3318

email: kodomo@kuad.kyoto-art.ac.jp

京都造形芸術大学連続公開講座

「こども芸術大学」の思想を世に問う

地球と子どもの未来を拓く「芸術」教育-子どもと母親への連帯のメッセージ



第一回「文学と子どもとこども芸術大学」

2002年11月2日(土) 14時-16時

主催: 京都造形芸術大学

「こども芸術大学」とは

「こども芸術大学」は、大学院附置機関の事業のひとつとして展開するものです。それは、幼児・小学生と親のための保育・教育・学習機関として2004年に開設を予定していますが、既存の幼稚園や保育所でもなければ、絵画塾や音楽教室でもありません。瓜生山の山麓にひろがる京都造形芸術大学という文化空間および自然空間を活動拠点として、子どもたちにとってふさわしい「芸術と自然の体験」と親の「子育て学習と芸術理解」を探求しようとする全く新しい運動です。

講座の主旨

私たちは、地球—母なる大地—と子どもたちの置かれた危機的状況を目の当たりにした時、未来への希望を育むために、今あえて「こども芸術大学」の思想を世に問いたいと考えました。文学や芸術や自然を手掛かりに子どもと親の未来をともに考えることを通して、「こども芸術大学」とは何か、「こども芸術大学」運動に期待されることは何か、を提起したいと思います。地球と子どもの未来を憂えるすべての人々に参加を呼びかけます。

第一回「文学と子どもとこども芸術大学」

日時：2002年11月2日(土) 14時—16時

14:00 主催者挨拶 芳賀徹（京都造形芸術大学学長）

14:05 第一部 講演「こども芸術大学の設立に向けて」
徳山詳直（学校法人瓜生山学園理事長）
ゲスト：千住文子（エッセイスト）

14:40 第二部 対談「文学と子どもとこども芸術大学」
道浦母都子（歌人）
芳賀徹（京都造形芸術大学学長）
司会：羽生清（京都造形芸術大学教授）

16:00 終了

■講師紹介

徳山詳直 [トクヤマ ショウチョク]

1930年生まれ。1967年学校法人瓜生山学園理事長に就任(現職)。1991年、山形県と市の呼びかけに応じ、学校法人東北芸術工科大学の設立に関わる。現在、京都造形芸術大学と姉妹校 東北芸術工科大学の理事長として、それぞれの旗印「京都文芸復興」「東北ルネサンス」のもと、芸術運動と大学改革への挑戦を続けている。

千住文子 [センジュ フミコ]

エッセイスト。東京都出身。慶応大学教授の夫、鎮雄氏とともに、芸術家3兄妹として知られる日本画家の博氏、作曲家の明氏、バイオリニストの真理子氏を育てた。2001年、家族の物語を綴った「千住家の教育白書」(時事通信社)を著す。

道浦母都子 [ミチウラ モトコ]

歌人。1947年和歌山県生まれ。早稲田大学在学中に歌誌『未来』に入会、近藤芳美に師事。歌集に『無援の叙情』(第25回現代歌人協会賞、岩波現代文庫)、『風の婚』(河出書房新社)、『青みぞれ』(短歌研究会)など。評論・エッセイ集に『乳房のうたの系譜』(筑摩書房)、『季節の森の物語』(朝日新聞社)など。2002年9月、最新作『声のさざなみ』(文化出版局)を出版。1992年、和歌山県文化表彰。

芳賀徹 [ハガ トオル]

京都造形芸術大学学長。文学博士(比較文学比較文化)。1931年生まれ。東京大学大学院比較文学比較文化博士課程修了。東京大学名誉教授、国際日本文化研究センター名誉教授。著書に『絵画の領分』(大仏次郎賞)、『平賀源内』(サントリー学芸賞)ほか多数。最新作は『詩歌の森へ』(中央公論新社/2002年9月)。

羽生清 [ハブ キヨ]

京都造形芸術大学教授。1944年新潟県生まれ。京都工芸繊維大学大学院修士課程修了。著書に『デザインと文化そして物語』(昭和堂)、『チェコスロヴァキアの民族衣装』共著(源流社)、『日本の美術』共著(勁草書房)ほか。